（　数学Ⅰ　）　学　習　指　導　案

授業者	日　野　豊　樹

学　科	普通科	学年・組	1年1組	日　時	平成27年5月27日(水) 第3限
教　室	142教室	使用教科書	新編数学Ⅰ(数研出版)		

単　元	第2章　2次関数		
指導目標	2次関数とそのグラフについて理解させ、その有用性を認識するとともに、それらを活用して最大値・最小値及び2次方程式・2次不等式の解を求めることができるようにする。	指導計画	1　2次関数とグラフ・・・・・・・・・8時間（本時はその2） 2　2次関数の値の変化・・・・・・・・6時間 3　2次方程式と2次不等式・・・・・・6時間

本時の指導

主題（教材）	2次関数のグラフ
前時の課題	課題プリントを解いておく。
目標	1　2次関数 $y=ax^2+bx+c$ のグラフにおいて、各係数の持つ意味を考えさせる。 2　$y=ax^2$ のグラフと $y=a(x-p)^2$ のグラフの位置関係を理解させ、グラフがかけるようにさせる。

		学習活動	時間	指導上の留意事項	資料・評価規準等
指導過程	導入	1　折り紙で放物線を作る。 2　身の回りにある放物線を見つける。	10	・図形的なものや2乗に比例する身の回りのものを考えさせる。	
	展開	1　$y=ax^2+bx+c$ のグラフについて考える。 (1) a について (2) c について	15	・a や c の値を変化させたグラフから a や c の持つ意味を考えさせる。 ・a はグラフの形を決定することを確認させる。 ・c はグラフの y 軸方向の平行移動に関係があることを理解させる。	・教材ソフト Grapes 【評価規準】 ○数値の変化とグラフの関係を見つける。 〈数学的な見方や考え方〉 【評価方法】 ○観察と発問
		2　$y=a(x-p)^2$ のグラフについて考える。	10	・p はグラフの x 軸方向の平行移動に関係があることを理解させる。	・課題プリント 【評価規準】 ○頂点を意識してグラフがかける。 〈数学的な技能〉 【評価方法】 ○グラフの頂点と x 軸、y 軸との交点の座標がかけている。〈知識・理解〉
		3　練習8を解く。 グラフをかけ。 (1)　$y=(x-2)^2$ (2)　$y=2(x+1)^2$ (3)　$y=-(x-3)^2$ (4)　$y=-2(x+2)^2$	10	・平行移動は頂点の移動に注目することを理解させ、頂点の位置を意識してグラフをかかせる。	
	整理	1　本時のまとめをする。 2　次時の学習内容を確認する。	5	・$y=a(x-p)^2+q$ のグラフの頂点について考えさせる。	

備　考	生徒数40名（ 男子19名、女子21名 ）